

〈答 丕〉

 忠清北道の 一般會計 全體 豫算規模

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ○ 第1回 追加更正豫算 | 24,288,094千円 |
| ○ '92 當初 豫算  | 249,214,476  |
| ○ 總 豫算額      | 273,502,570  |

 建設 都市局 豫算の 投資 對比

- |         |   |
|---------|---|
| 道全體 規模の | { 第1回 追更 : 1,706,270千円(7%)<br>總 豫 算 額 : 39,504,149千円(15%) |
|         |   |

 1992年度 建設都市局の

- |                                       |             |
|---------------------------------------|-------------|
| ○ 一般會計 第1回 追加更正豫算 規模は                 | 1,706,270千円 |
| (建設都市局 892,440, 道路管理事業所 813,830)      |             |
| ○ '92 當初豫算                            | 37,797,879  |
| (建設都市局 33,111,618, 道路管理事業所 4,686,261) |             |
| ○ 總 規 模                               | 39,504,149  |
| (本廳 34,004,058, 道路管理事業所 5,500,091)    |             |

 性質別 内譯

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ○ 法的 業務の 経費 | 60,895千円  |
| ・ 人 件 費     | (26,225)  |
| ・ 官署 運営費    | ( 1,800)  |
| ・ 基本 經常費    | (32,870)  |
| ○ 事業費は      | 831,545千円 |
| ・ 經常 事業費    | (401,045) |
| ・ 主要 事業費    | (430,500) |

## □ 投資 內譯 說明

○ 人件費의 增 事由	26,225千원
• 公務員의 賞與金, 定額手當의 引上分 計上(11월부터 10% 引上)	
○ 官署 運營費	1,800千원
• 6級에서 5級昇進 公務員의 定額 情報費(12月)	
○ 基本 經常費	32,870千원
• 局(5個課) 業務推進을 爲한 旅費	(16,500)
• 設計 審査委員會 運營을 爲한 手當	(7,200)
• 建設業 免許를 爲한 公告料	(1,670)
• 災害對策 計劃書 油印	(7,500)
○ 經常 事業費	401,045千원
• 都市計劃 發展方向을 爲한 세미나	(11,845)
• 淸州科學產業園地 造成과 國土利用計劃 業務推進	(10,000)
• 不動產 投機 防止 對策 經費	(50,000)
• 住居 環境 改善	(1,000)
• 地方道 鋪裝率 提高 對策費	(100,000)
• 災害復舊 對策費	(100,000)
• 行政 裝備 購入	(127,200)
• 一般河川 改修	(1,000)
○ 主要事業費	430,500千원
• 그린벨트 休息空間 造成(淸原郡)	(10,000)
• 自動開閉式 변소 改良(7,300棟)	(109,500)
• 上水道 事業 支援	(△584,000)

※ 減事由 : - 上水道脆弱團體補助事業費의 二重計上된 714百萬元 減  
(會坪出張所와 都市開發課에 計上)

- 이中 130百萬元은 報恩, 沃川, 丹陽에 支援

4 (第78回 建設委-1次)

- 덕천橋 架設(官給資材貸) (70,000)
  - 연곡~심곡간 道路 擴鋪裝(1.0km) (200,000)
  - 河川 整備 用役(3個所)(석화川, 동진川, 용성川) (120,000)
  - 水害常習地 改善(4個所) (50,000)
- (한천堤, 용촌堤, 덕동堤, 미암堤)
- 既成堤 維持補修(문방川 청용堤) (5,000)

# 特 別 會 計

(道路事業 特別會計)

住宅事業 特別會計

○ 住宅事業特別會計 第1回 追更規模	102,215千円
○ '92 當初 豫算	929,097
○ 總 豫算規模	1,031,312

 歳入 内譯 102,215千円

○ 純歳計 利餘金	102,215
-----------	---------

 歳出 内譯 102,215千円

○ 主要 事業費	2,000
・ 農村住宅改良事業 指導	2,000
○ 豫 備 費	100,215
・ 豫 備 費	100,215

債務負擔事業內譯  
(地方讓與金 特別會計)

地方譲與金 特別會計

○ 債務負擔額 2,112,000千원

事業內譯

○ 事業名 : 地方道 鋪裝 設計 用役

○ 事業量 : 13件(82km)

    - 2次線 : 11件(49km)

    - 4次線 : 2件(33km)

○ 工事費 : 95,323,000千원

○ 實施設計用役費 : 2,112,000千원

○ 支出年度 : 1993年

○ 事由 : '93年度 地方道 鋪裝 事業의 圓滑한 推進을 爲한 實施設計를 '92年度에 앞당겨 施行하므로서 地方道 鋪裝事業의 早期 着工과 早期 마무리에 寄與코자 우선 '92年度 債務負擔 事業으로 推進하고 '93年度 地方讓與金 特別會計에서 償還코자 함.

## '93地方道事業實施設計用役費所要內譯

(單位：km/百萬円)

事業名	事業量	工事費	用役費	備考
計	82.2	95,300	2,112	
○ 2車線擴鋪裝	49.2	28,300	735	
・ 賢都~文義	4.3	2,150	53	
・ 文義~懷南	2.3	1,150	31	
・ 青城~深川	8.9	4,450	113	
・ 上村~興徳	8.0	4,000	102	
・ 徳山~金旺	4.0	2,000	54	
・ 金旺~栗面	3.4	1,700	45	
・ 仰城~丹岩	樺 1.8	3,600	91	
・ 舊丹陽~傍谷	4.9	2,450	63	
・ 堤川~魚上川	3.6	1,800	48	
・ 魚上川~別芳	3.0	1,500	40	
・ 濟州~米院	7.0	3,500	89	
○ 4車線擴・鋪裝	33.0	67,000	1,377	
・ 斗山~米院	13	26,400	561	
・ 陰城IC~五笠	20	40,600	816	

## ※ 用役料率

1億까지 : 5.03%	100億까지 : 2.50%
10億까지 : 2.93%	200億까지 : 2.42%
20億까지 : 2.70%	300億까지 : 2.40%
30億까지 : 2.60%	500億까지 : 2.34%
50億까지 : 2.55%	



# 第1回 追更豫算要求概要

道路管理事業所

# 一般會計

■ 今回 要求額(1回 追更) 813,830千円

■ 内 訳

□ 基本的 経費 16,030千円

- 人 件 費(賞典金, 其他職報酬, 定額手當) 20,631
- 官署運営費 △10,601
  - ・ 修路員 時間外 勤務手當 △13,662
  - ・ 諸税 公課金 120
  - ・ 施設整備維持費 - 除雪機 整備 2,940
- 基本 經常費(地方道 維持管理 出張旅費) 6,000

□ 事 業 費 797,800千円

- 經常 事業費(資産取得費) 3,000
  - ・ 過積車輛 團東用 에어작키 購入 2,500
  - ・ 法令集 保管用 冊藏 購入 500

○ 主要 事業費	794,800千円
・ 交通安全施設 改善(가드레일 2, 미끄럼방지 4)	20,400
・ 梧倉~曾坪間 路肩 舗装(L=2.5km)	12,500
・ 고삼계 落石防止網 設置(L=350m)	78,750
・ 清風道路 落石防止網 設置(L=1,000m)	150,000
・ 군간橋 柵工事(L=200m)	16,000
・ 가대道路 柵工事(L=400m)	32,000
・ 昇陽~永春間 가드레일 設置(L=4,000m)	136,000
・ 대강~미노間 가드레일 設置(L=2,000m)	68,000
・ 落石危險地區 標識板 設置 및 補修(266個所)	24,000
・ 地方道 標識板 補修(標識板 82, 反射鏡 50)	184,000
・ 防護柵 및 防護壁 塗色(10個路線, 25km)	50,000
・ 地方道 補修整備事業 附帶費(771,650千円×3%)	23,150

特 別 會 計  
(道路事業 特別會計)

道路補修 重機 特別會計
--------------

□ 歳 入	294,002千円
-------	-----------

- |                        |          |
|------------------------|----------|
| ○ 事業収入                 | 147,891  |
| ・ 使用料 収入(綜合教育院敷地 整地工事) | 247,891  |
| ・ 其他 事業収入(車線塗色工事)      | △100,000 |
| ○ 事業外収入                | 146,111  |
| ・ 移 越 金(純歳計 剩餘金)       | 49,442   |
| ・ 雑 收 入(利子収入, 積立金)     | 96,669   |

□ 歳 出	294,002千円
-------	-----------

- |                                    |         |
|------------------------------------|---------|
| ○ 管 理 費                            | 16,512  |
| ・ 人 件 費(給與, 賞與金, 定額手當)             | 13,953  |
| ・ 官署運賃費(綜合教育院 工事に 따른 時間外手當)        | 2,559   |
| ○ 事 業 費                            | 243,130 |
| ・ 經常 事業費                           | 36,173  |
| - 綜合教育院 工事に 따른 諸經費                 | 34,173  |
| 宿食費 16,200, 間食費 5,000 推進旅費 7,500   |         |
| 現場事務室집기 1,685 推進費 2,000 公共料金 1,788 |         |
| - 重機(콤드밀링머신) 運送 手数料                | 2,000   |

・ 主要事業費	206,957
- 綜合教育院 工事に  따른 經費	118,957
重機維持費	56,584
現場事務室設置 및 電氣架設	8,500
重機賃借料	40,258
敷地整地 및 측구整備	13,615
- 物品購入費(마카담포울러)	88,000
○ 豫 備 費	34,360千원

○ 위원장 김봉삼 수고하셨습니다. 다음은 전문위원의 검토보고를 하여 주시기 바랍니다.

○ 전문위원 오병천 전문위원 오병천입니다. 건설도시국 소관 1992년도 제1회 추가경정예산안 검토보고를 드리겠습니다.

<참 조>

建設都市局 一般會計  
1992年度 第1回 追加更正 豫算案

# 檢 討 報 告 書

1992. 5.

建設委員會  
專門委員

## 目 次

■ 忠清北道 一般會計 歲出豫算 總括表 .....	728
■ 建設都市局 一般會計 歲出豫算 .....	729
一 歲出 豫算案 規模 .....	729
一 專門委員 檢討 意見 .....	730
■ 道路補修 重機運營 特別會計 .....	735
一 歲入歲出 豫算案 規模 .....	736
一 專門委員 檢討 意見 .....	738
■ 住宅事業 特別會計 .....	740
■ 地方讓與金事業 特別會計 .....	742



## 1. 概 要

## 가. 一般會計 歲出豫算 規模

(單位：百萬圓)

經 費 別	豫 算 額		既定豫算額		增 減	
	金額	%	金額	%	金額	%
合 計	273,503	100	249,215	100	24,288	9.7
基 本 的 經 費	49,656	18.2	46,876	18.8	2,780	59.3
人 件 費	25,566	9.4	24,960	10.0	606	2.4
官 署 運 營 費	13,196	4.8	12,731	5.1	465	3.7
基 本 經 常 費	10,894	4.0	9,185	3.7	1,709	18.6
事 業 費	165,681	60.5	145,479	58.4	20,202	18.9
經 常 事 業 費	13,519	4.9	9,098	3.7	4,421	48.5
主 要 事 業 費	152,162	55.6	136,381	54.7	15,781	11.5
其 他 經 費	58,166	21.3	56,860	22.8	1,306	2.3

○ 忠清北道 一般會計 92年度 第1回 追加更正豫算案의 歲出豫算規模는 當初豫算

2,492億1千5百萬圓 對備 9.7%인 242億8千8百萬圓이 增額인 2,735億 3百萬圓임

### ㄋ. 建設都市局 一般會計 歳出規模

(單位：百萬圓)

經 費 別	豫 算 額		既 定 豫 算 額		增 減	
	金 額	%	金 額	%	金 額	%
合 計	39,504	100	37,798	100	1,706	4.5
基 本 的 經 費	3,469	8.8	3,392	9.0	77	2.3
人 件 費	2,654	6.7	2,607	6.9	47	1.8
官 署 運 營 費	699	1.8	708	1.9	△ 9	△1.3
基 本 經 常 費	116	0.3	77	0.2	39	50.6
事 業 費	27,556	69.7	25,927	68.6	1,629	6.3
經 常 事 業 費	722	1.8	318	0.8	404	127
主 要 事 業 費	26,834	67.9	25,609	67.8	1,215	4.8
其 他 經 費	8,479	21.5	8,479	22.4	-	-

○ 建設都市局 所管 一般會計 '92年度 第1回 追加更正豫算案 規模は 當初豫算 377

億9千8百萬圓 對比 4.5%인 17億 6百萬圓이 增額된 395億4百萬圓임.

## 2. 檢討意見

□ '92年度 第1回 建設都市局 所管 一般會計 歲出追加更正豫算案을 檢討한바 都市計劃 管理, 住宅, 上下水道, 道路, 治水事業에 重點을 두어 編成하였으며 忠清北道 一般會計 歲出豫算 對比 7%의 豫算을 占하고 있음.

□ 歲出內譯을 性質別로 살펴보면

첫째, 基本的 經費에 있어서 當初豫算 對比 2.3%인 7千7百萬원이 增額되었는바,

- |         |                |
|---------|----------------|
| - 人件費   | 4千7百萬원(1.8%增)  |
| - 官署運營費 | △ 9百5萬원(1.3%感) |
| - 基本經常費 | 3千9百萬원(50.6%增) |

둘째, 事業費에 있어서는 當初豫算 對比 6.3%인 16億2千9百萬원이 增額되었는바,

- |         |                  |
|---------|------------------|
| - 經常事業費 | 4億4百萬원(127%增)    |
| - 主要事業費 | 12億2千5百萬원(4.8%增) |

□ 이를 細分해서 分析해보면

첫째, 人件費가 當初豫算 26億7百萬원 對比 1.8%인 4千7百萬원이 增額되었는바

- |          |        |
|----------|--------|
| - 賞典金    | 3千萬원   |
| - 定額手當   | 1千6百萬원 |
| - 其他職 報酬 | 1百萬원   |

으로 이는 "地方公務員 手當 規定 改正(大統領令 第13574號 92.1.24)에 따른 期末手當 計算 方法이 92年12月부터 月 俸給額 基準에서 月 俸給額과 職務手當을 合算한 金額을 基準으로 變更되었고, 定額手當도 92年11월부터 從前 30%에서 40%로 上向調整 되었으며, 日傭人夫賃의 基本給 引上에 基因한것으로 思料됨.

둘째, 官署運營費가 當初豫算 7億8百萬원 對比 1.3%인 9百萬원이 減少되었는바

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| - 定額情報費         | 2百盤원    |
| - 時間外 勤務手當(修路員) | △1千4百萬원 |
| - 除雪機 고무購入費     | 2百萬원    |
| - 除雪機 타이어購入費    | 1百萬원    |

으로 定額情報費는 職務代理이었던 農村住宅係長의 5級昇進에 따른 追加所要分을 計上한 것이며 時間外 勤務手當은 內務部 指計에 依據 國費로 支給되는 修路員의 手當 不支給에 따른 減額임.

셋째, 基本經常費가 當初豫算 7千7百萬원 對比 50.6%인 3千9百萬원이 增額되었는바

- |                             |        |
|-----------------------------|--------|
| ○ 都市計劃管理                    | 5百萬원   |
| - 公共施設 立地指定 現地確認 旅費         | 2百萬원   |
| - 個別地價 現地確認 旅費              | 2百萬원   |
| - 建設都市分野 不法行爲 指導團東 旅費       | 1百萬원   |
| ○ 都市開發管理                    | 1千3百萬원 |
| - 設計審査委員會 手當                | 7百萬원   |
| - 建設業體 指導, 審査旅費             | 2百萬원   |
| - 開發制限區域 現地確認 旅費            | 1百萬원   |
| - 尖端產業團地 業務推進 旅費            | 1百萬원   |
| - 建設業 免許 公告料                | 2百萬원   |
| ○ 住宅指導                      | 3百萬원   |
| - 都市低所得 住居環境 改善推進 旅費        | 3百萬원   |
| ○ 上水道 事業                    | 1百萬원   |
| - 上水道事業 建設指導 旅費             | 1百萬원   |
| ○ 道路管理 事業所 運營               | 6百萬원   |
| - 道路管理 事業所 過積車輛 團東旅費        | 2百萬원   |
| - 道路管理 事業所 道路整備 吳 實態調査 旅費   | 2百萬원   |
| - 道路管理 事業所 忠州支所 地方道 維持管理 旅費 | 2百萬원   |
| ○ 河川管理                      | 3百萬원   |
| - 落材採取 豫定地 調査 吳 不法 採取 團東    | 3百萬원   |
| ○ 災害對策                      | 8百萬원   |
| - '92地域防災計劃書 印刷             | 2百萬원   |
| - 水害復舊計劃書 印刷                | 4百萬원   |
| - 災害對策 會議書類 印刷              | 2百萬원   |

으로 設計審査委員會 手當은 忠清北道 地方建設技術 審議委員會의 名稱을 變更한 것으로 思料되며 手當 또한 事業量에 비해 過多 策定된 것으로 詳細한 說明이 要求됨.

넷째, 經常事業費가 當初豫算 3億1千8百萬원 對比 127%인 4億4百萬원이  
增額되었는바

○ 都市計劃管理	2千1百萬원
- 都市計劃發展方向 세미나	4百萬원
- 都市計劃指導情報翻譯料 및 冊子 發刊	3百萬원
- 都市計劃 業務 便覽 發刊	3百萬원
- 國土 利用計劃 中央部處 業務 協議	3百萬원
- 地域建設事業 推進	4百萬원
- 清州科學園地 用途地域 變更 業務 協議	2百萬원
- 都市計劃發展 세미나	2百萬원
○ 都市開發 管理	1百萬원
- 尖端產業 業務推進 懇談會	1百萬원
○ 土地管理	5百萬원
- 不動產 投機 抑制 對策	5千萬元
○ 住宅指導	4百萬원
- 都市低所得 住民 環境改善懇談會	1百萬원
- 워크스테이션 購入	3百萬원
○ 道路橋梁管理	1億2百萬원
- 地方道 鋪裝率 提高對策	1億元
- 워크스테이션 購入	2百萬원
○ 道路管理 事業所 運營	3百萬원
- 過積車輛 團東用 에어자키 購入	3百萬원
○ 河川管理	3百萬원

－ 河川整備 基本計劃 懇談會	1百萬원
－ 워크스테이션 購入	2百萬원
○ 災害對策	2億2千萬원
－ 水害復舊 對策	1億원
－ 원격 自動 雨量 測定 裝備 設置	7千萬원
－ 其他 設置 附帶費	1千萬원
－ 氣象 衛星 受信 裝備	4千萬원

으로 “不動產 投機 抑制對策”“地方道 鋪裝率 提高對策”“水害復舊 對策”등은 詳細한 說明이 要求됨.

다섯째, 主要事業費가 當初豫算 256億9百萬원 對比 4.8%인 12億2千5百萬원이

增額되었는바

○ 都市開發管理	1千萬원
－ 그린벨트내 休息空間 造成	1千萬원
○ 住宅指導	1億9百萬원
－ 自動 開閉式 便器 改良事業	1億9百萬원
○ 上水道 事業	△5億8千4百萬원
－ 上水道 事業費 支援	△5億8千5百萬원
○ 道路橋梁建設	2億7千萬원
－ 연곡 - 심곡間 道路 擴·鋪裝	2億원
－ 덕천교 架設 工事	7千萬원
○ 道路管理事業所 運營	7億9千5百萬원
－ 交通安全 施設改善	2千萬원
－ 오창 - 증평間 노건鋪裝 工事	1千3百萬원
－ 고수재 落石 防止網 設置	7千9百萬원

－ 청봉道路 落石 防止網 設置	1億5千萬원
－ 군간교 펜스 設置	1千6百萬원
－ 가대道路 웨스 設置	3千2百萬원
－ 丹陽 ~ 영춘간 가드레일 設置	1億3千6百萬원
－ 대강 ~ 미노간 가드레일 設置	6千8百萬원
－ 道路落石 地區改善 事業	2千4百萬원
－ 地方道 標識板 補修	1億8千4百萬원
－ 방호벽 및 방호벽 도색	5千萬원
－ 地方道 補修整備 事業 附帶費	2千3百萬원
○ 河川管理	6億2千萬원
－ 河川整備 基本計劃 用役	1億2百萬원
－ 水害 常習地 改善事業	4億8千5百萬원
－ 一般河川 改修 事業 附帶費	1千5百萬원
○ 災害 對策	5百萬원
－ 기성제 維持補修	5百萬원

으로 上水道事業 支援費 減額內譯에 대하여는 詳細한 說明이 要求됨.

道路補修重機運營特別會計  
1992年度 第1回 追加更正 豫算案

# 檢 討 報 告 書

1992. 5.

建設委員會  
專門委員



## 1. 概 要

## 가. 道路補修 重機運營 特別會計 歲入豫算 規模

(單位：百萬圓)

財 源 別	豫 算 額		既 定 豫 算 額		增 減	
	金 額	%	金 額	%	金 額	%
合 計	1,234	100	940	100	294	31.3
事 業 收 入	967	78.4	819	87.1	148	18.1
使用料收入	767	62.2	519	55.2	248	47.8
其他事業收入	200	16.2	300	31.9	△100	△33.8
事 業 外 收 入	267	21.6	121	12.9	146	12.0
純歲計剩餘金	169	13.7	120	12.8	49	40.8
轉 入 金	-	-	-	-	-	-
雜 收 入	98	7.9	1	0.1	97	-

- 1992年度 道路補修 重機運營 特別會計 第1回 追加更正 歲入 豫算案은 事業收入이 18.1%인 1億 4千 8百萬圓 增加한 9億 6千 7百萬圓이며 事業外收入이 120.6%인 1億 4千 6百萬圓이 增加한 2億 6千 7百萬圓임.

### ㄟ. 道路補修 重機運營 特別會計 歳出豫算 規模

(單位：百萬圓)

財 源 別	豫 算 額		既 定 豫 算 額		增 減	
	金 額	%	金 額	%	金 額	%
合 計	1,234	100	940	100	294	31.3
基 本 的 經 費	691	56.0	674	71.1	17	2.4
人 件 費	390	31.7	376	40.1	14	3.7
官 署 運 營 費	276	22.3	275	29.0	3	1.0
基 本 經 常 費	25	2.0	25	2.6	-	-
事 業 費	509	41.2	266	28.3	243	91.5
經 常 事 業 費	104	8.4	68	7.3	36	53.0
主 要 事 業 費	405	32.8	198	21.0	207	105
其 他 經 費	34	2.8	-	-	34	-

○ 道路補修重機運營 特別會計 '92年度 第1回 追加更正 豫算案의 歳出豫算은 當初豫算 9億 4千萬圓 對比 31.3%인 2億 9千 4百萬圓이 增額인 12億 3千 43百萬圓인.

## 2. 檢討意見

- 1992年度 第1回 道路補修 重機 運營 特別會計 追加更正 豫算案을 檢討한바 大統領令 第13574호(92. 1. 24) 地方公務員, 手當規定 改正에 따른 人件費 引上分 및 綜合教育院 敷地造成 都給工事 事業費로서 當初豫算 9億 4千萬원 對比 31.3%가 增加한 12億 3千 4百萬원임.
- 歲入規模를 살펴보면  
使用料 收入이 2億 4千 8百萬원이 增額 되었는바 이는 綜合教育院敷地整理都給工事に 다른 收入이며 其他事業收入이 1億元 減額된 것은 一般會計 當初豫算이 削減된데 基因한 것임, 雜收入이 9千 7百萬원 增額된 것은 企業金錢 信託利子 9百萬원 重機購入資金 積立금이 8千 8百萬원임,
- 歲入內譯을 性質別로 살펴보면  
첫째 基本的 經費가 當初豫算 經費 2.4%인 1千 7百萬원이 增額되었는바
- |         |               |
|---------|---------------|
| - 人 件 費 | 1千4百萬원(3.7%增) |
| - 官署運營費 | 3百萬원(1.0%增)   |
- 增加된데 基因한 것이며
- 둘째 經常事業費가 當初豫算 對比 53%인 3千 6百萬원이 增額되었는바,
- |                     |        |
|---------------------|--------|
| - 綜合教育院 敷地造成 都給 事業費 | 3千6百萬원 |
|---------------------|--------|
- 셋째 主要事業費가 當初豫算 對比 104.8%인 2億 7百萬원이 增額되었는바
- |                    |        |
|--------------------|--------|
| - 綜合教育院 敷地造成都給 事業費 | 2億7百萬원 |
|--------------------|--------|
- 이 增加된데 基因한 것이며
- 넷째 豫備費가 3千 4百萬원 增額된 것임.
- 이를 細分해서 分析해 보면  
첫째 人件費가 1千 4百萬원 增額된바, 이는 當初豫算 3億7千6百萬원 對比 3.7%가 增加된 것으로
- |              |       |
|--------------|-------|
| - 重機 操縱員 給與  | △2百萬원 |
| - 重機 操縱員 賞與金 | 6百萬원  |

一 重機 操縦員 定額手當 1千萬圓

으로 給與의 減額은 號俸 昇級者 把握 錯誤로 인한 過多計上分이며 상여금 및 定額手當은 地方公務員 手當 規定 改正에 따른 期末手當 適用方法 變更 및 11 月부터 適用된 定額 手當 10% 引上에 基因한 것임.

둘째 官署運營費가 3百萬圓 增額 되었는바, 이는 當初豫算 2億 7千 3百萬圓이 對比 1.0%가 增加 된것으로

一 時間外 勤務手當 3百萬圓

이는 綜合 教育院 敷地造成工事時 重機 操縦員 및 整備士 時間外 勤務와 休日 勤務 手當임.

셋째 經常事業費가 3千 6百萬圓 增額 되었는바 이는 當初豫算 6千 8百萬圓 對比 53 %가 增加되었음.

一 重機 操縦員 宿食費 및 間食費 2千1百萬圓

一 콜드밀링 머신 의자 運送 手數料 2百萬圓

一 現場 事務室집기 購入 2百萬圓

一 敷地造成工事 推進費 2百萬圓

一 公共料金 2百萬圓

一 工事推進旅費 7百萬圓

으로 綜合教育院 敷地造成工事 推進 事業費임.

넷째 主要事業費가 2億 7百萬圓의 增額은 當初豫算 1億 9千 8百萬圓 對比 104.8% 가 增加 되었는바.

一 重機維持費 5千 7百萬圓

一 現場事務室 設置費 8百萬圓

一 重機賃借料 4千萬圓

一 敷地정리 및 측구整備 일용인부임 1千 4百萬圓

一 마카담 진동 료율리 購入費 8千 8百萬圓

으로 이는 綜合教育院 敷地造成工事 都給 施工에 따른 主要事業費와 裝備購入 費임.

住宅事業特別會計  
1992年度 第1回 追加更正 豫算案

# 檢 討 報 告 書

1992. 5.

建設委員會  
專門委員

## 1. 概 要

## 가. 住宅事業 特別會計 歲入豫算案 規模

(單位：百萬圓)

財 源 別	豫 算 額		既定豫算額		增 減	
	金 額	%	金 額	%	金 額	%
合 計	1,031	100	929	100	102	11.0
事 業 外 收 入	1,031	100	929	100	102	11.0
純歲計剩餘金	674	65.4	572	61.6	102	17.8
融資金回收收入	7	0.7	7	0.8	0	-
轉 入 金	350	33.9	350	37.6	0	-

○ 1992年度 住宅事業 特別會計 追加更正 豫算案의 規模는 當初豫算 9億 2千 9百萬圓 對比 11%인 1億 2百萬圓이 增額된 10億 3千 1百萬圓임.

## 나. 住宅事業 特別會計 歲出豫算案 規模

(單位：百萬圓)

財 源 別	豫 算 額		既定豫算額		增 減	
	金 額	%	金 額	%	金 額	%
合 計	1,031	100	929	100	102	11.0
事 業 費	908	88.0	906	97.5	2	0.2
經常事業費	-	-	-	-	-	-
主要事業費	908	88.0	906	97.5	2	0.2
其 他 經 費	123	12.90	23	2.5	100	434

○ 1992年度 住宅事業 特別會計 歲出 追加更正 豫算案은 事業費가 2百萬圓 豫備費가 1億圓으로 總 1億 2百萬圓

- 住宅改良 指導旅費 2百萬圓
- 豫 備 費 1億圓임

地方讓與金事業特別會計  
1992年度 第1回 追加更正 豫算案

# 檢 討 報 告 書

1992. 5.

建設委員會  
專 門 委 員

## 1. 地方讓與金事業 特別會計 歳出規模

債務負擔 \_\_\_\_\_ 21億 1千 2百萬円  
(地方道 舗裝事業 設計用役費)

## 2. 檢討意見

'1993年度 地方道 舗裝事業의 圓滑한 推進을 위하여 實施設計를 '1992年度에 앞당겨  
施行 하므로써 地方道 舗裝事業의 早期 着工 및 마무리에 기여 하고자 우선 '1992年度  
債務負擔事業으로 推進하고 1993年度 地方讓與金事業 特別會計에서 償還코자 하는 것으  
로 妥當하다고 思料됨.



## '93地方道 事業實施設計用役費 所要内譯

(単位 : km/百萬円)

事業名	事業量	工事費	用役費	算出内譯
計	92.2	95,300	2,112	
○ 2車線擴鋪裝	49.2	28,300	735	
・ 賢都 ~ 文義	4.3	2,150	53	$2,150 \times 2.6\% = 56$
・ 文義 ~ 懷南	2.3	1,150	31	$1,150 \times 2.7\% = 31$
・ 青城 ~ 深川	8.9	4,450	113	$4,450 \times 2.55\% = 113$
・ 上村 ~ 興徳	8.0	4,000	102	$4,000 \times 2.55 = 102$
・ 徳山 ~ 金旺	4.0	2,000	54	$2,000 \times 2.7\% = 54$
・ 金旺 ~ 栗面	3.4	1,700	45	$1,700 \times 2.7\% = 45$
・ 仰城 ~ 丹岩	橋1 1.8	3,600	91	$3,600 \times 2.55 = 91$
・ 舊丹陽 ~ 傍谷	4.9	2,450	63	$2,450 \times 2.6\% \times 63$
・ 堤川 ~ 魚上川	3.6	1,800	48	$1,800 \times 2.7 = 48$
・ 魚上川 ~ 別芳	3.0	1,500	40	$1,500 \times 2.7 = 40$
・ 濟州 ~ 米院	7.0	3,500	89	$3,500 \times 2.55 = 89$
○ 4車線擴鋪裝	33.0	67,000	1,377	
・ 斗山 ~ 米院	13	26,400	561	$26,400 \times 2.4 = 633$
・ 陰城 IC ~ 五筮	20	40,600	816	$40,600 \times 2.34 = 950$

※ 用役料率

1億까지 : 5.03%	100億까지 : 2.50%
10億까지 : 2.93%	200億까지 : 2.42%
20億까지 : 2.70%	300億까지 : 2.40%
30億까지 : 2.60%	500億까지 : 2.34%
50億까지 : 2.55%	